

第47回粘土科学討論会報告

第47回粘土科学討論会は9月24日(水)から25日(木)に広島大学大学院理学研究科(東広島市鏡山)にて開催されました。また、今年は翌日の26日(金)には久しぶりに見学会も実施いたしました。広島大学は広島市から東広島市に統合移転が完了し、数年が経過しました。我が理学部(大学院理学研究科)は1991年に移転し、既に10年以上が経過いたしました。移転直後はキャンパスも整備が進行している状況で、学内の道路は舗装もされておらず、雨が降ると長靴が必要になる状況でした。しかし、現在は統合移転が完了し、周辺の整備も進みましたので、大学のキャンパスとして一応の体裁が整ったところですので、このような時期に広島大学で粘土科学討論会を開催できたことは我々にとって意義深いものがあります。しかし、参加されました皆さんには全国から東広島に來られ、大学までのアクセスの不便さに驚かれた方もおられると察いたします。多くの参加者が事前にネットなどで調べられ、不便を承知で学会に参加されたこと、大変に感謝いたします。討論会に参加していただきました人数は約175名(会員:90名,学生会員:43名,非会員:40名,名誉会員:2名)にのぼりました。今回開催し驚きましたのは、会員以外の方々が討論会に多く参加されたことでした。事前に参加したいと申し出も何件もありました。これらの方々が粘土学会会員になられると、粘土学会ももっと活発になるのではないかと感じました。しかし、会員でないけれど参加していただけることは、本学会に多大な興味を示されていることで、うれしい限りです。

討論会では口答発表は2会場、それにポスター会場一部屋に分かれ、それぞれ活発な質疑応答がなされました。口答発表は57件、ポスター発表は54件でした。また、初日(24日)午後には、特別講演として韓国釜山大学の黄辰淵教授(会員)を韓国よりお招きし、「韓国における粘土鉱物の産状および特性」と題して日本語で講演をしていただきました。先生は1980年から6年間、筑波大学で故下田右先生のもとで、研究された経緯があります。そのかいあってか、韓国からわざわざこの粘土討論会に参加いただいた方もおられました。これから日本の粘土学会も周辺諸国から参加され、発表していただけるようになれば、主催者として考えた次第です。

これに引き続き「Claysphere Part 2:粘土圏の空間分布とナノ解析手法の新展開」と題したシンポジウムが開催され、粘土圏の空間分布をテーマとし、八田珠郎会員(国際農研)による「地球表層における粘土圏の役割」、加藤憲二先生(静岡大)による「地下環境における生命圏粘土相互作用」、三河内岳先生(東大)による「宇宙空間における粘土鉱物の分布とその存在意義:特に火星における粘土鉱物の存在について」とそれぞれ題した講演がなされました。引き続き、粘土鉱物のナノ解析法として小暮敏博先生(東大)による「電子顕微鏡による

層状珪酸塩のナノ解析法」、河村雄行先生(東工大)による「分子シミュレーションによる粘土鉱物のナノ解析法」と題してそれぞれ講演がありました。最後に河野元治会員(鹿児島大)と宮脇律郎会員(科学博物館)の司会により総合討論がなされました。本学会が扱っている粘土鉱物がいかに多方面にわたる研究対象であるかをあらためて認識するシンポジウムでした。

シンポジウム後の懇親会は学内の学生会館で催され、120名の参加を得、盛況でした。例年の懇親会同様、参加者の最年長の1人であられる湊秀雄先生の乾杯で幕を開けました。懇親会ではここ東広島、西条は日本有数の酒どころなので、ビールの他に日本酒を7種類用意させていただきました。最後に次回の討論会開催地となる新潟大学の赤井純治会員の挨拶でお開きとなりました。会場から各宿への交通手段がバスかタクシーしかありませんので、それぞれバスの時刻に合わせて三々五々会場を後にされた方も多く見受けました。

翌日の25日は午前口答発表、午後ポスターセッションと口答発表がなされました。前日の懇親会の疲れもみせず、多くの方が朝から多く参加され、活発な討論がなされました。

口答発表、ポスター発表ともに35歳以下の若手研究者の優秀講演者賞の選考もなされ、後日以下の5名の方々が受賞されました。

高木慎介会員(東京都立大学大学院)、福士圭介会員(産総研)、石井亮会員(産総研)、大世光弘氏(金沢大学大学院)、會澤純雄会員(岩手大学工学部)。

25日昼の総会では山岸皓彦会長による挨拶後、東正治会員を議長に選出し、総会が進行されました。井上厚行会員により、2005年早稲田大学で開催される13th ICCの準備状況と、2005年には粘土討論会は開催せずICCがそれにかわるものであるとの報告がありました。

平成15年度日本年度学会賞・奨励賞・技術賞・論文賞の発表と表彰があり、学会賞として、小川誠会員、奨励賞として橋爪秀夫会員、技術賞、株式会社資生堂の小川隆会員と大津裕氏に、粘土科学論文賞に佐藤久子会員、Clay Scienceとして白木康一会員が受賞し、山岸皓彦会長からそれぞれ表彰されました。

討論会修了後、26日には見学会が行われました。事前の予定では見学会の参加者は15名ほど申し込まれていましたが、当日参加いただけたのは5名のみでした。前日キャンセルされた方や全く申し込みをしたのを忘れておられた方が多く、我々の学生・院生を参加させ、総勢14名として実施いたしました。まず呉市にある産総研の大型瀬戸内海模型を見学し、大学に帰り学生会館のレストランにて昼食後、東広島に移転しました国の酒類総合研究所を訪れ、日本酒やワイン、ビールなどのつくられる行程を見学後、研究所でつくられました日本酒の聞き酒を経験させていただきました。最後に全国の陶芸家の作品の原料を供給している西条粘土の採掘場を見学し、参加者を西条駅や大学にお送りし解散となりました。

今回の粘土科学討論会は交通の不便な広島大学で開催されましたが、多くの会員・非会員の方々の参加により何とか無事に終えることができました。討論会の座長をお引き受けいただきました皆さんのご協力に感謝いたします。

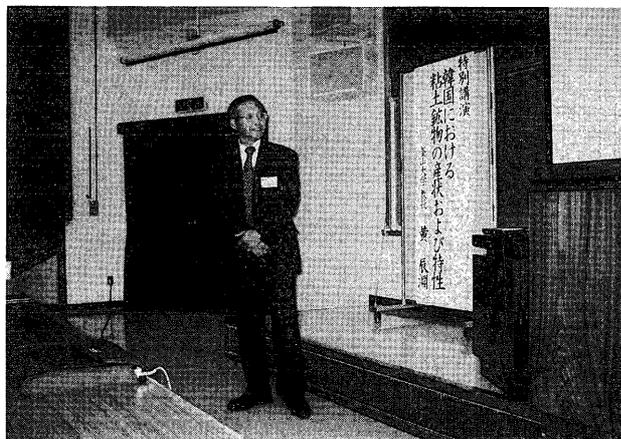
また最後に討論会の準備や運営を陰で支えていただきました地下まゆみ博士をはじめ、我々のグループの院生、学生の皆さん全員がそれぞれの分担をこなしてくれましたこと、感謝いたします。

(北川隆司)

第47回粘土科学討論会風景

シンポジウム

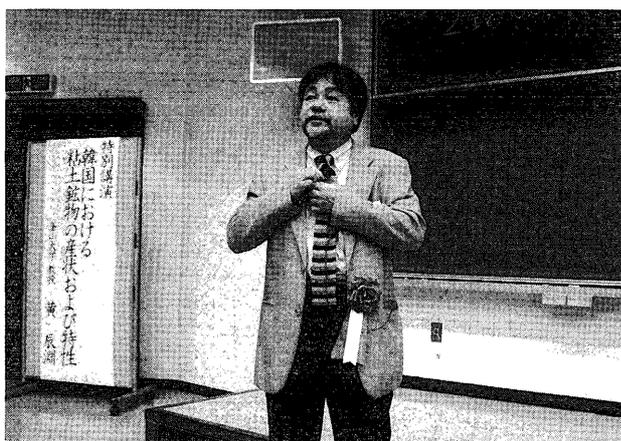
粘土圏の空間分布とナノ解析手法の新展開



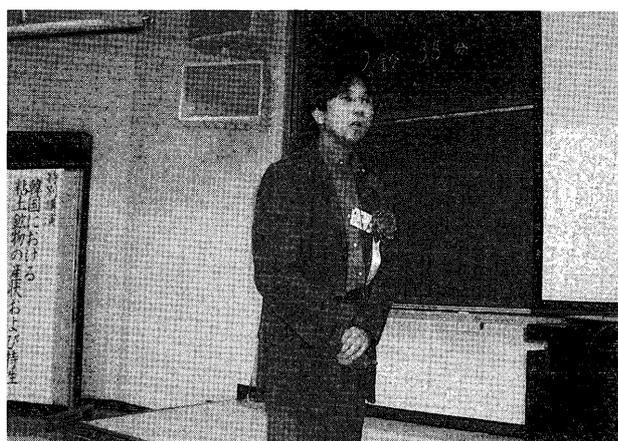
特別講演 黄辰淵会員



八田珠郎会員



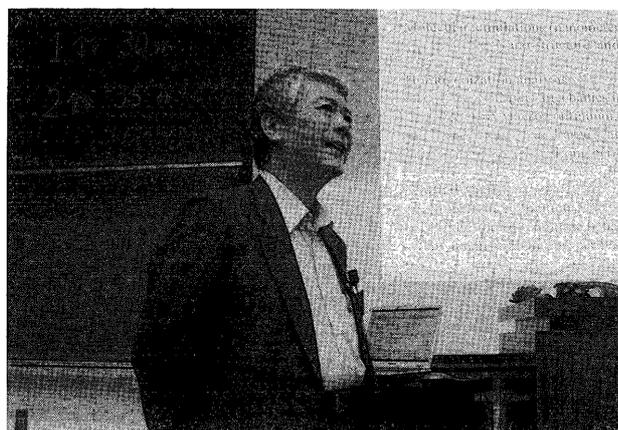
加藤憲二氏



三河内岳氏

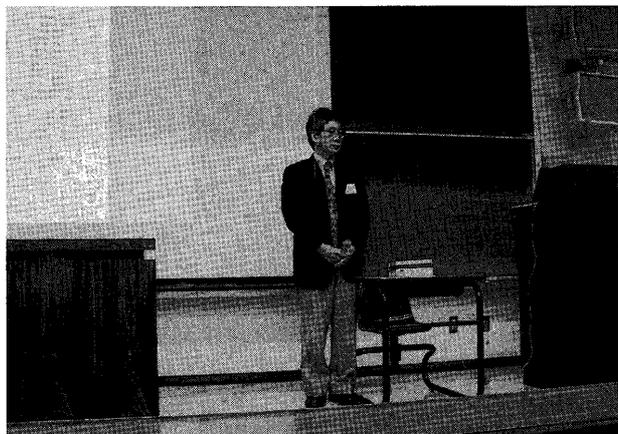


小暮敏博会員



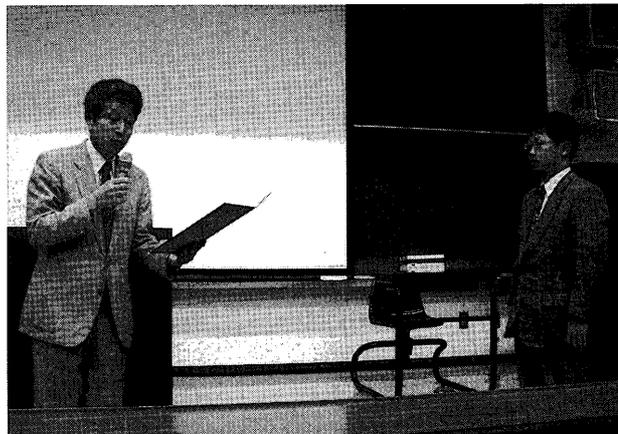
河村雄行会員

総 会



東 正 治 議 長

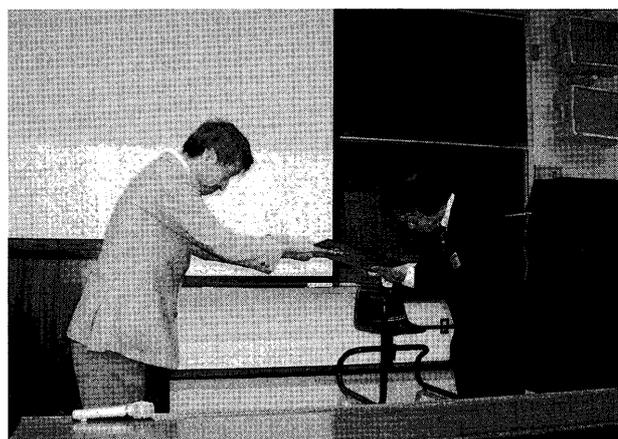
表 彰



学 会 賞 小 川 誠 会 員



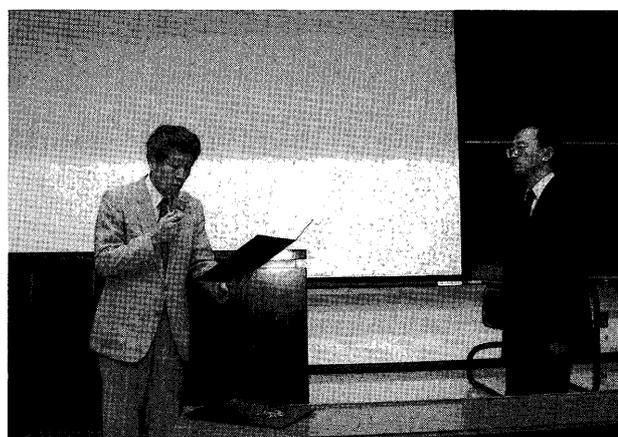
山 岸 皓 彦 会 長



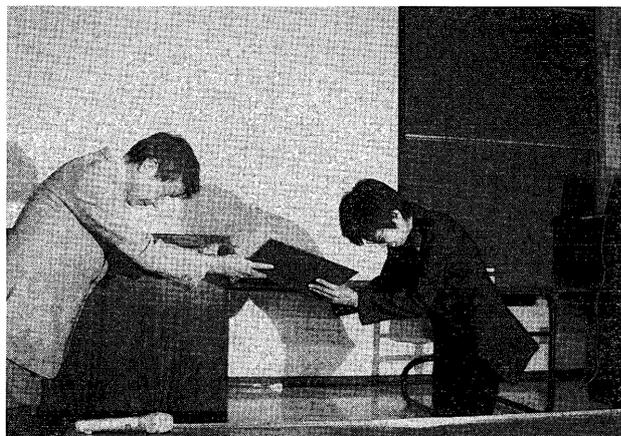
奨 励 賞 橋 爪 秀 夫 会 員



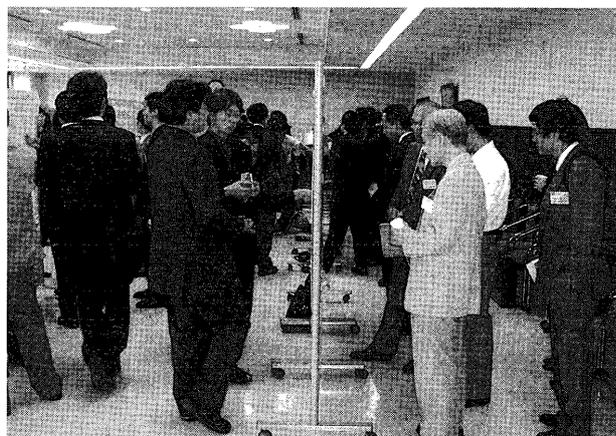
井 上 厚 行 常 務 委 員 長



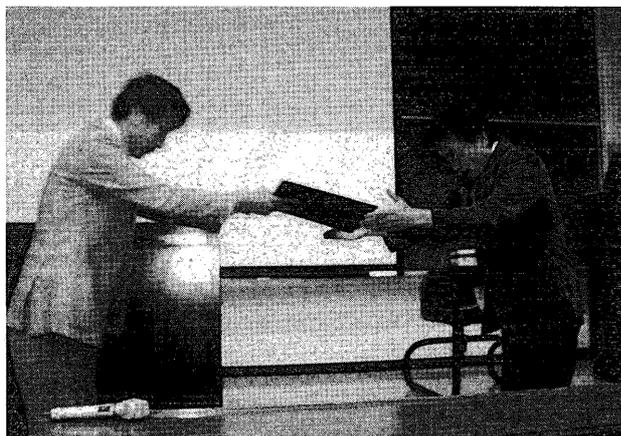
技 術 賞 (株)資 生 堂 小 川 隆 会 員



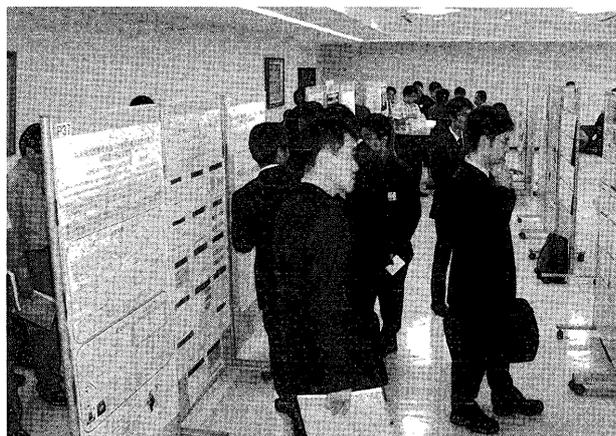
粘土科学論文賞 佐藤久子会員



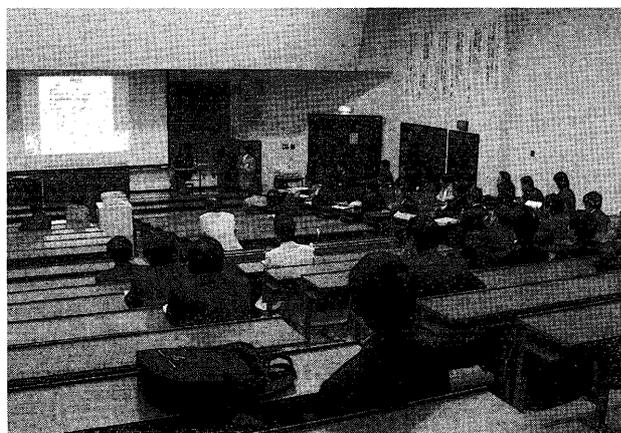
ポスターセッション会場



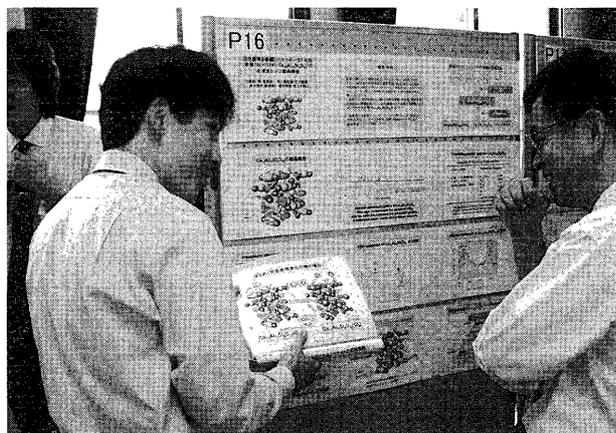
Clay Science 論文賞 白木康一会員



ポスターセッション会場



総会風景



ポスターセッション会場

懇親会



湊 秀雄名誉会員

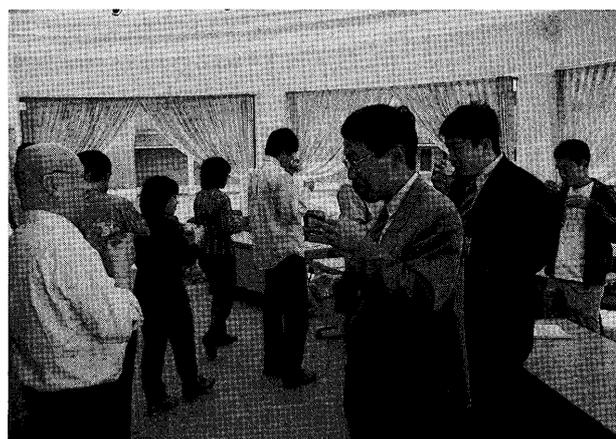
見学会



瀬戸内海大型水理模型 (産業技術総合研究所)



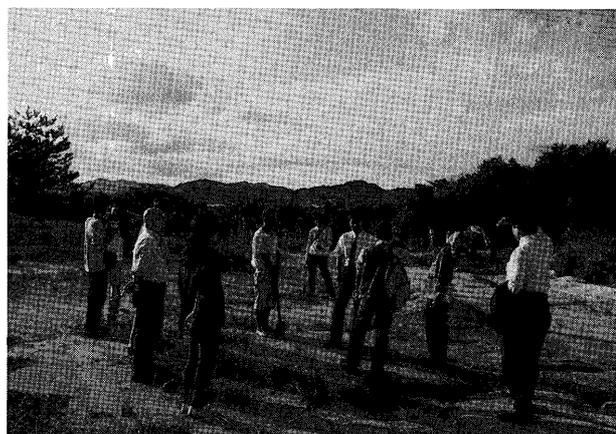
行事委員 赤井純治会員
(次回開催地：新潟大学)



酒類総合研究所 (きき酒)



懇親会風景



西条粘土採掘場